

## 第2回上天草市まち・ひと・しごと創生推進会議資料

---

日時：令和元年7月30日（火）15：00～

場所：上天草市役所大矢野庁舎書庫棟2階会議室

- 1 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」について
- 2 上天草市まちひとしごと創生総合戦略の振り返りについて
- 3 振り返りを踏まえた次期戦略の方向性について

# 1 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」について

---

# 1 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」について①

## 第2期の方向性

### 第1期(2015年度～2019年度)の枠組

**国** 2014年12月策定

長期ビジョン  
:2060年に1億人程度の人口を維持する中長期展望を提示

総合戦略  
:第1期の政策目標・施策を策定

**地方** 全ての都道府県、1,740市区町村において策定済み

地方人口ビジョン  
:各地域の人口動向、将来人口推計の分析や中長期の将来展望を提示

地方版総合戦略  
:各地域の人口動向や産業実態等を踏まえ、第1期の政策目標・施策を策定

### 4つの基本目標と地方創生版・三本の矢

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、  
安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【地方創生版・三本の矢】情報支援、人材支援、財政支援

### 第2期(2020年度～2024年度)の枠組

第1期での地方創生について、「継続を力」にし、  
より一層充実・強化

(国のビジョン・総合戦略)  
◆年内に改訂(ビジョンについては、大きな変更なし)

(地方のビジョン・総合戦略)  
◆国のビジョン・総合戦略を踏まえ、切れ目なく改訂

### 4つの基本目標と地方創生版・三本の矢

#### <4つの基本目標>

- ◆従来の枠組を維持しつつ、必要な強化
  - ・「地方への新しいひとの流れをつくる」の取組の強化
  - ・「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、子ども・子育て本部等と連携
- ◆「人材を育て活かす」「誰もが活躍する地域社会をつくる」観点を追加
- ◆新たな視点に重点をおいて施策を推進
  - ・新しい時代の流れを力にする(Society5.0等)、人材を育て活かす等

#### <地方創生版・三本の矢>

- ◆従来の枠組を維持
- ◆地方創生関係交付金については、必要な見直しを実施

# 1 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」について②

## 第2期における新たな視点

第2期(2020年度～2024年度)においては、4つの基本目標に向けた取組を実施するに当たり、新たな次の視点に重点を置いて施策を推進する。

### (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。
- ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

### (2) 新しい時代の流れを力にする

- ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。 ※Society5.0とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。IoT、AI、ロボットや自動走行車等の科学技術の活用により実現を目指していく。
- ◆SDGsを原動力とした地方創生。
- ◆「地方から世界へ」。

### (3) 人材を育て活かす

- ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。

### (4) 民間と協働する

- ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。

### (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

### (6) 地域経営の視点で取り組む

- ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

# 1 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」について③

## 2020年度における各分野の主要な取組

### 1. 地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす

- ・ 「地域人材支援戦略/パッケージ」等による人材の地域展開
- ・ 新たなビジネスモデルの構築等による地域経済の発展
- ・ 「海外から稼ぐ」地方創生
- ・ 地方創生を担う組織との協働
- ・ 高等学校・大学等における人材育成

### 2. 地方への新しいひとの流れをつくる

- ・ 地方への企業の本社機能移転の強化
- ・ 企業版ふるさと納税の活用促進による民間資金の地方還流
- ・ 政府関係機関の地方移転
- ・ 「関係人口」の創出・拡大
- ・ 地方公共団体への民間人材派遣
- ・ 地方の暮らしの情報発信の強化

### 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ・ 個々人の希望をかなえる少子化対策
- ・ 女性、高齢者、障害者、外国人等が共生するまちづくり

### 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ・ 交流を支え、生み出す地域づくり
- ・ マネジメントによる高付加価値化
- ・ Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ・ スポーツ・健康まちづくりの推進

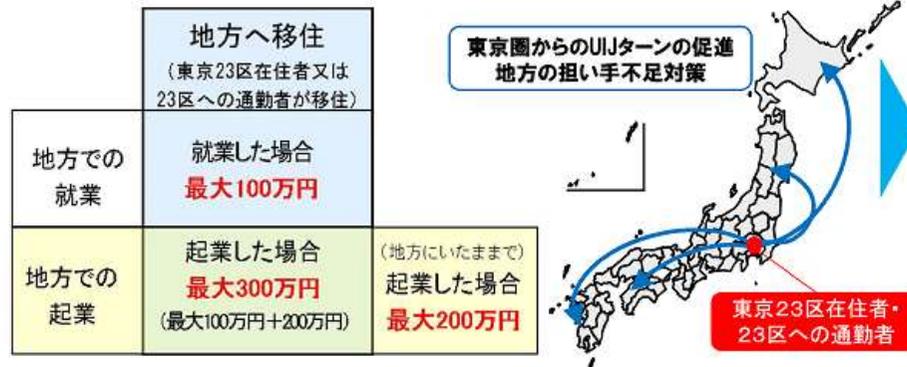
### 5. 連携施策等

- ・ 地方創生に向けた国家戦略特区制度等の推進
- ・ 東日本大震災の被災地域における地方創生の加速化
- ・ 規制改革、地方分権改革との連携
- ・ 国土強靱化等との連携

# 1 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」について④

## 「関係人口」の創出・拡大①

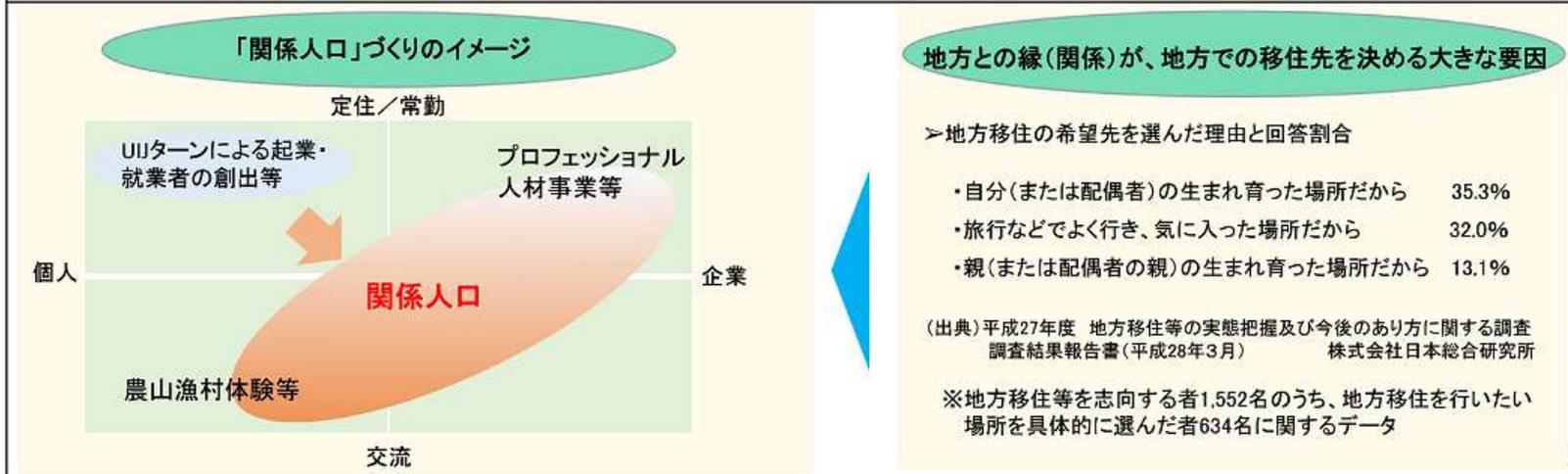
【地方創生推進交付金によるUIターンへの推進】(2019年度～)



○地方創生推進交付金(移住・起業・就業タイプ)  
(H31.4.1現在)  
<交付対象事業数(1回目採択)>  
・38道府県(1,034市町村と連携)

※起業支援金・移住支援金の制度を昨年12月に公表したのち、ふるさと回帰支援センターへの相談件数は増加(12月～4月、前年比約13%増)

地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野を拡大するため、定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を目指す。その際、個人と企業の取組を加速。



# 1 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」について⑤

## 「関係人口」の創出・拡大②

➤ 様々な「関係人口」に関連する取組を加速化

・プロフェッショナル人材事業

・サテライトオフィス・ニ地域居住



Sansan株式会社 神山ラボ(徳島)

・サテライトキャンパス



慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス

・地方創生インターンシップ



・子供の農山漁村体験



2024年度に小学生、中学生、高校生について現在の取組を倍増

➤ 総合的な情報を集約・発信する拠点を全国に展開

① 特定地域との継続的な関わりを求める  
都市住民等の創出・拡大  
<「ファン」づくり>

② 副業・兼業として地域に関わる人材の活用  
<「しごと」づくり>



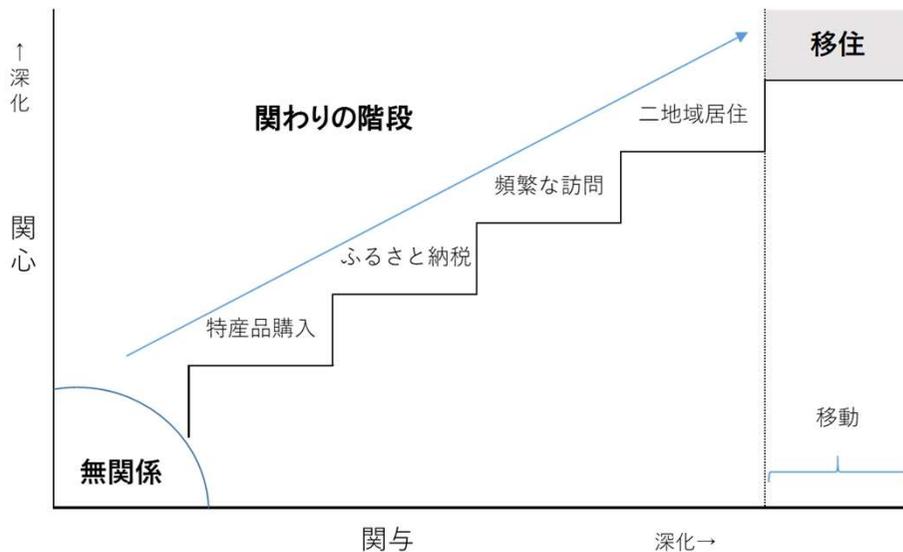
## 参考：「関係人口」とは

・「関係人口とは、言葉のとおり『地域に関わってくれる人口』のこと。自分でお気に入りの地域に週末ごとに通ってくれたり、頻繁に通わなくても何らかの形でその地域を応援してくれるような人たち」 ※ソトコト編集長 指出一正氏

○関係 = 関心（心を寄せる）  
+ 関与（関わる）

関係人口 = 関心人口  
+（または）  
関与人口

### 「関わりの階段」※明治大学 小田切教授



### 国の方針（再掲）

#### (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆ 将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。
- ◆ 企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

## 2 市の第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返りについて

---

## 2-1 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の現状と課題について①

戦略の基本目標	数値目標	現状							課題	
		年度	基準	総合戦略期間						合計 (見込み)
	H26 基準		H27	H28	H29	H30	H31 ※4年間の 平均値			
基本目標1 上天草市への人の流れをつくる	社会減の抑制 ▲525人(H27~H31の累計) ▲105人/年	社会増減数 (自然増減数)	▲272 (▲305)	▲290 (▲351)	▲276 (▲318)	▲255 (▲302)	▲298 (▲347)	▲280 (▲330)	▲1,399 (▲1,648)	人口減少が進んでいる
	H31年の宿泊客数 265,800人	年 宿泊客数 (観光入込客数)	H26 基準 227,182 (1,343,899)	H27 245,787 (1,423,480)	H28 297,243 (1,589,375)	H29 239,835 (1,631,537)	H30 265,159 (1,867,433)	H28年は熊本地震の復興事業として宿泊補助等のキャンペーンを実施		ほぼ目標値を達成
基本目標2 安定した魅力ある雇用を創出する	市基幹産業の新規就業者数200人 (H27~H31の累計) ①1次産業新規就業者 50人 ②新規船員数 50人 ③観光産業の新規就業者数100人	①1次産業新規就業者 44人(目標50人) ②新規船員数 18人(目標50人) ③観光業の新規就業者 73人(目標100人) (H27年以降に開業した施設㉗~㉚の従業員の合計) ㉗リゾートテラス天草、㉘AZホテル上天草店 ㉙フランピングビレッジ天草、 ㉚ペットリゾートブレインズ天草 今後、亀屋大江戸温泉物語、前島観光拠点施設、樋合リゾートなどがオープン ※参考：誘致企業の従業員数 526人(H26) ⇒ 555人(H30) 29人の増							内訳①③は、 目標達成の見込み	
基本目標3 市民の結婚・出産・子育ての希望を叶える	出生数 860人 (H27~H31の累計) 172人(年平均)	年度	基準 H26 基準	H27	H28	H29	H30	H31	合計 (見込み)	目標には達しない見込み
	子育てに不安感や負担感を感じない割合：51%	出生数(人)	176	153	169	142	140	151 ※年平均	755	
基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心して快適な暮らしを創出する	住みやすいと思う市民の割合 H31：70%	平成26年度(基準)：58.9% 平成30年度：56.9% ※移住相談件数 H26：73件 → H30：125件 ※市対応による移住者数 H26：13人 → H30：50人							目標には達しない見込みであるが、移住相談件数及び移住者数は増加している。	

## 2-1 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の現状と課題について②

### ○熊本県推計人口調査

年	世帯数	人 口			人口性比 (女=100)	1世帯 当たり 人員	前1カ年の人口動態												
		計	男	女			純増減	自 然 動 態			社 会 動 態							社会 増減	
								出生者	死亡者	自然 増減	転 入 者			転 出 者					
県内	県外	その他	計	県内	県外	その他	計												
H26	10,776	27,657	12,888	14,769	87.26	2.57	▲ 577	176	481	▲ 305	423	266	29	718	644	306	40	990	▲ 272
H27	10,477	27,006	12,550	14,456	86.82	2.58	▲ 641	153	504	▲ 351	398	231	25	654	601	311	32	944	▲ 290
H28	10,350	26,412	12,316	14,096	87.37	2.55	▲ 594	169	487	▲ 318	452	221	49	722	606	340	52	998	▲ 276
H29	10,226	25,855	12,079	13,776	87.68	2.53	▲ 557	142	444	▲ 302	337	237	42	616	546	295	30	871	▲ 255
H30	10,062	25,210	11,798	13,412	87.97	2.51	▲ 645	140	487	▲ 347	317	223	33	573	592	253	26	871	▲ 298

## 2-3 地方創生関連交付金を活用した事業の評価について①

H27年度事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金）	担当課振り返り・推進会議意見等
<p>避難所等整備事業費補助事業 <span style="float: right;">事業費12,000千円／交付金11,844千円</span></p> <p>公民館等の機能強化（バリアフリー化、トイレの様式化等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の中に「自分でやらなきゃ」という意識が醸成してきた。</li> <li>・横のつながりを強化する必要あり。</li> </ul>
<p>移住促進事業 <span style="float: right;">事業費1,565.2千円／交付金1,500千円</span></p> <p>移住アドバイザーの設置、都市圏での相談会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者間の交流会等の実施など、移住後のアフターフォローにも取り組んでいく。</li> <li>・子育て世代の移住が少ないのは働く場が少ないためとされており、雇用の場を確保する必要あり。</li> </ul>
<p>農林水産物等販売促進事業 <span style="float: right;">事業費18,152.2千円／交付金17,930千円</span></p> <p>ブラッシュアップ商品販路拡大事業</p> <p>販売力アップ研修会の開催 ブラッシュアップ商品販路拡大事業評価会の開催 観光・物産展及び商談会の開催（大阪府豊中市）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者あってのものづくりなので消費者の視点が必要。</li> <li>・地域資源を生かし、無理のない商品開発を行うとよい。</li> </ul>
<p>観光振興事業 <span style="float: right;">事業費28,222千円／交付金27,000千円</span></p> <p>観光PR動画のインターネット配信、観光パンフレット作成・設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上天草市みしらんガイド」のようなチャレンジングな事業は継続してほしい。</li> </ul>
<p>物産展示販売会及び商談会事業 <span style="float: right;">事業費11,673.2千円／交付金10,700千円</span></p> <p>本市特産物等の展示販売会・商談会の開催（熊本市）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上天草市の勢いをアピールする場としては最高であった。今後は官民連携事業として取り組んではどうか。</li> </ul>
<p>湯島・樋合地区体験型観光拠点整備事業 <span style="float: right;">事業費754.8千円／交付金754千円</span></p> <p>体験型観光商品の実現可能性について検討、先進地視察研修を行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島おこしとして「地域おこし協力隊」を取り入れてみるのはどうか。</li> </ul>

## 2-3 地方創生関連交付金を活用した事業の評価について②

H28年度事業（地方創生加速化交付金・推進交付金）	担当課振り返り・推進会議意見等
<p>上天草市で生きたくなる！ バックアップ大作戦事業</p> <p>事業費51,066.4千円／交付金46,000千円</p> <p>「ロバート」秋山氏を起用したプロモーション動画の制作 移住お試し施設の設置、移住支援制度の創設 海運業疑似体験システムの開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上天草市を「知る」きっかけとなった。市内に「来る」プロモーションになるよう内容を充実しながら継続して実施していく。</li> </ul>
<p>島旅サイクリング事業</p> <p>事業費13,518.6千円／交付金9,500千円</p> <p>コースマップの作成・HPへ情報掲載、 サイクルラック・案内看板など受け入れ態勢等の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリストは市へ落とすお金が少ないが上天草の“ファン”になることで頻繁な訪問につながる。</li> <li>・サイクリストと地元の人との接点が生まれるような仕掛けをつくるとよい。</li> </ul>
<p>パライゾ天草地域資源“アブリダス”事業</p> <p>事業費19,826.2千円／交付金19,821.5千円</p> <p>おもてなし観光大学（上天草ガイドの会や上天草高校生も対象） 販売スキル向上研修会の開催 物産展及び商談会並びにアンテナショップへの出店</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな成功例をつくり広めるといふ本事業のやり方は非常に効果が高いため引き続き実施する必要がある。</li> </ul>
<p>VISITあまくさ・しまばらプロジェクト推進事業</p> <p>事業費4,687.2千円／交付金4,400千円</p> <p>プロモーション事業 世界遺産とオルレを活用したインバウンド促進事業、DMO基盤整備事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内観光施設や飲食店などの参加店舗数を増やし、地域一丸となって消費拡大に繋げる。</li> </ul>
<p>ヘルシーアイランドづくり事業</p> <p>事業費19,100千円／交付金9,098千円</p> <p>前島観光拠点化事業（イメージアップ情報発信・観光スタンプラリー・ ワークショップコーディネート・間伐等森林整備） 複合型スポーツ&amp;ヘルスツーリズム（実施計画作成・遊休養殖場） トータルブランディング事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外から人が「来る」だけでなく、地元の人が「行きたくなる」活動が大切。</li> <li>・このような行政の取組みを、次世代を担う子どもたちにも知ってもらい、広めていくことが重要。</li> </ul>

## 2-3 地方創生関連交付金を活用した事業の評価について③

H29年度事業（地方創生推進交付金・拠点整備交付金）	担当課振り返り・推進会議意見等
<p>ヘルSEAアイランドづくり事業 <span style="float: right;">事業費54,994千円／交付金27,414千円</span>                      前島観光拠点化事業（イメージアップ情報発信・間伐等森林整備）                      複合型スポーツ&amp;ヘルスツーリズム（ライフキネティック事業・ヘルシーメニュー開発・人間ドックモニターツアー・遊休養殖場）                      トータルブランディング事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康づくり」というキーワードは今後重要であるため、他の課と連携しながら、市民が楽しく健康で長生きできるような取組みを継続して進めていってほしい。</li> </ul>
<p>シーリゾートトライアングル構想・推進事業 <span style="float: right;">事業費12,483千円／交付金6,241千円</span>                      シーリゾートトライアングル構想策定、配送型レンタサイクル実証実験                      サイクルラック設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天草の“サイクリングアイランド”というイメージは高まっている。</li> <li>・自転車で走りたくなるサイクリングスポットをPRするとともに、自転車を持っていない方へ車より自転車で周遊する“楽しさ”をPRするとよい。</li> </ul>
<p>湯島で生きる“島活”応援事業 <span style="float: right;">事業費7,332千円／交付金3,666千円</span>                      スローライフ体験ツアー、湯島灯台周辺整備、プロモーション動画作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯島の認知度や注目度が格段にアップし、入込客が増えている。</li> <li>・島民の“まちづくり”に対する意識が高まり、今後の取組みと市内全体への波及に期待。</li> </ul>
<p>上天草市「観食住」サイクル事業 <span style="float: right;">事業費46,611千円／交付金19,055千円</span>                      6次産業化支援事業、観光大学運営、シティプロモーション                      移住促進事業（産業体験イベント・グルメコンテスト）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「移住」ブームは一旦落ち着いたため、住んでいる人たちがもっと上天草を好きになり、住み続けたいと思えるような取組みも実施していく必要がある。</li> </ul>
<p>スポーツ施設を拠点とした稼げる地域づくりプロジェクト <span style="float: right;">事業費62,828千円／交付金31,316千円 事業費2,430千円／交付金1,215千円</span>                      キッズサッカー大会、プロスポーツ選手招待                      陸上競技場及びテニスコート観客整備                      陸上競技場のクラブハウス模様替え</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在増えつつある小規模な大会が継続して開催したいと思われるような良い関係性をつくるとよい。</li> </ul>

## 2-3 地方創生関連交付金を活用した事業の評価について④

H30年度事業（地方創生推進交付金・拠点整備交付金）	担当課振り返り・推進会議意見等
<p>ヘルSEAアイランドづくり事業 <span style="float: right;">事業費45,044千円／交付金22,522千円</span></p> <p>プロジェクトマッピング、クリアカヤック・サップヨガ実証実験 旅行商品の造成・プロモーション、景観整備、人間ドックモニターツアー 温泉大学・ライフキネティック講座開催、アサリ養殖実証実験等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が「ナナメ上<sup>↑</sup>上天草」を紹介できるように。</li> <li>・市民一人ひとりが健康を意識する取組が必要。</li> </ul>
<p>シーリゾートトライアングル構想・推進事業 <span style="float: right;">事業費24,474千円／交付金11,532千円</span></p> <p>商工観光事業者向けセミナーの開催、レンタサイクル実証実験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル以外の可能性も模索してはどうか。</li> </ul>
<p>湯島で生きる“島活”応援事業 <span style="float: right;">事業費9,245千円／交付金4,622千円</span></p> <p>スローライフ体験ツアー、メニュー開発と湯島フェアの開催 短編映画上映会の開催、フォトウェディングスポット発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯島の盛り上がりが市内全体に広がり、他の地域への人の流れができるようにする必要がある。</li> </ul>
<p>上天草市「観食住」サイクル事業 <span style="float: right;">事業費23,071千円／交付金11,532千円</span></p> <p>上天草フェアの開催（大阪府豊中市）、産業体験イベントの開催 グルメコンテストの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化の取組は引き続き推進。</li> <li>・産業体験イベントなど、次の5年後も見据えていく必要がある。</li> </ul>
<p>天草四郎と潜伏キリシタン文化を活用した観光素材づくり事業 <span style="float: right;">事業費2,942千円／交付金1,471千円</span></p> <p>資料調査分析と展示業務、語り部による解説講演 定期公演実証実験、情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元で愛される「天草四郎ミュージアム」にすべきである。</li> </ul>

### 3 振り返りを踏まえた次期戦略の方向性について

---

### 3 - 1 振り返りで見えてきた第2期戦略の枠組

#### 第1期戦略

##### <4つの基本目標>

- ・上天草市への人の流れをつくる
- ・安定した魅力ある雇用を創出する
- ・市民の結婚・出産・子育ての希望を叶える
- ・時代に合った地域をつくり、安心して快適な暮らしを創出する

##### <取組の方向性>

- 上天草市に行きたくなる
- 上天草市で生きたくなる
  - ・上天草市で働きたくなる
  - ・上天草市に住みたくなる

##### <成果>吹き始めたナナメ上の風!

シティプロモーション等による  
上天草市を知る機会の創出

観光入込客数も含め  
「交流人口」は増加傾向

ふるさと納税額は県内トップレベル

観光拠点施設・WI-FI環境の整備  
(着地型観光・交流)

スポーツ交流拠点施設の充実

##### 課題・分析

人口減少が進んでいる

本市の魅力を活かした産業づくりに取り組む必要がある

若い世代(結婚・出産・子育て)に対する効果的な施策の検討が必要である

子どもから高齢者まで安心・安全で快適な暮らしが送れるような生活基盤の整備が必要である

##### <推進会議>

官民連携・庁内連携をさらに強化

上天草市には引き続きチャレンジ志向を持って欲しい

市民にも発信し、人も地域も巻き込み、  
地方創生の“ジブンゴト化”につなげる

市の未来を見据え、未来を担う人材の育成

住む人・来る人も満足する上天草市になってほしい

#### 第2期戦略の枠組

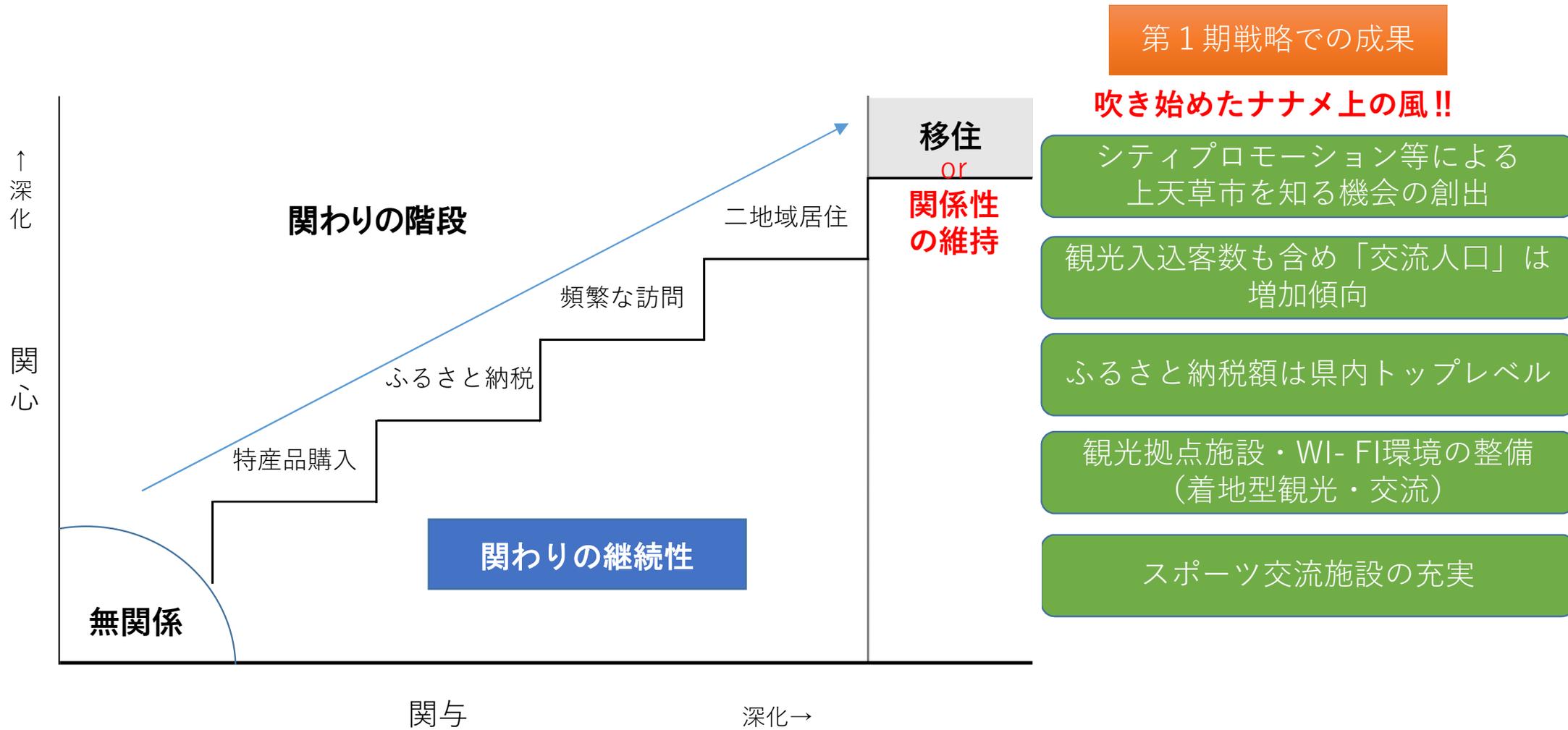
○第1期で設定した4つの基本目標を維持しつつ、取組の方向性を強化し、更に推進を図る。

○取組の方向性に新たに“上天草市が好きになる”を追加

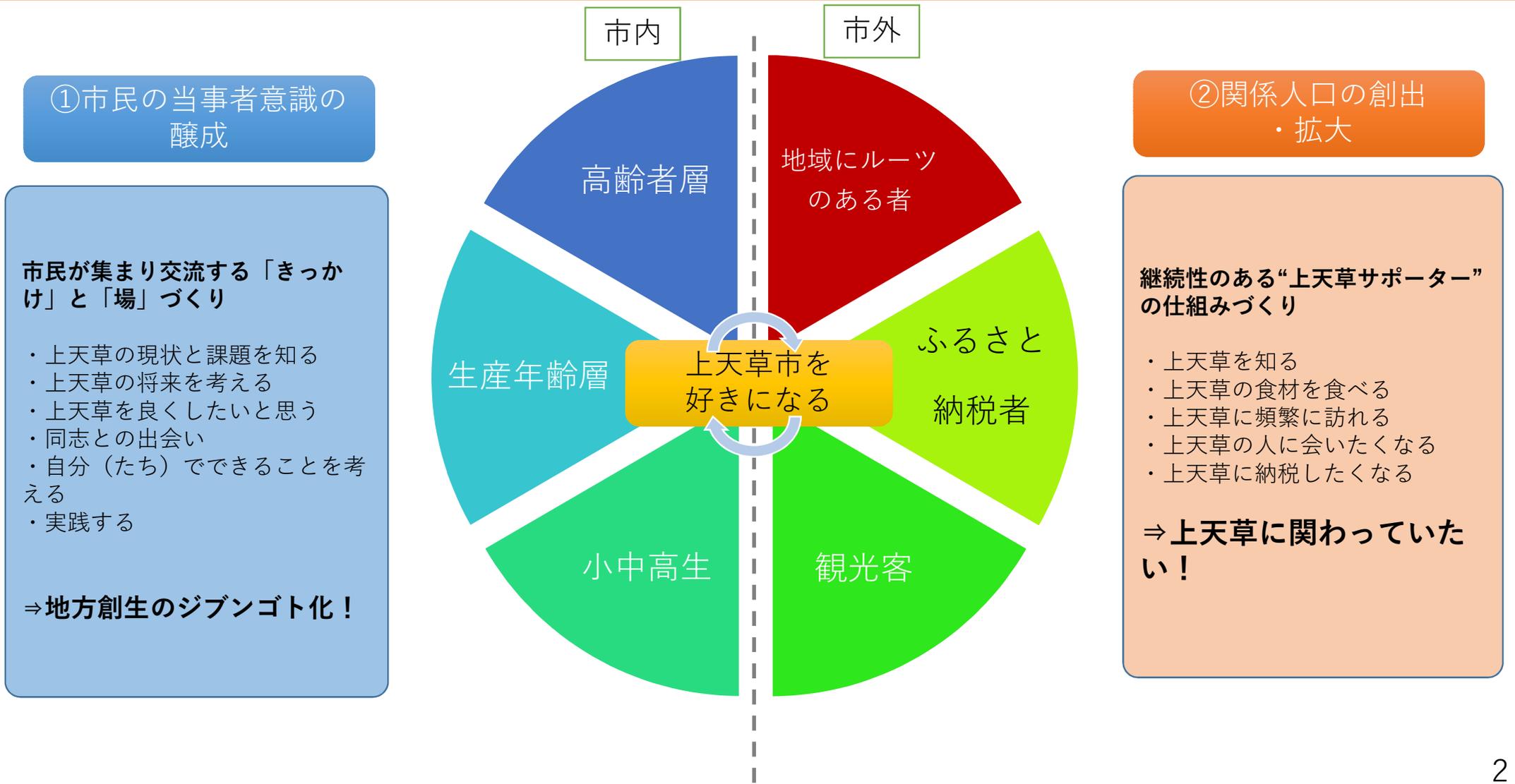
- ・上天草市とつながり続ける“関係人口”の創出・拡大
- ・市民の当事者意識（シビックプライド※）醸成

※シビックプライド：郷土愛など単に愛着を示す言葉とはニュアンスが異なり、「この都市をより良い場所にするために自分自身が関わっている」「自分がこの都市の未来をつくっている」という当事者意識を伴う自負心のことをいう。（シビックプライド研究会：伊藤香織代表（東京理科大学教授））

### 3-2 「関係人口の創出・拡大」と第1期戦略での成果



### 3-3 第2期戦略における取組のイメージ



### 3 - 4 第2期戦略における施策案について

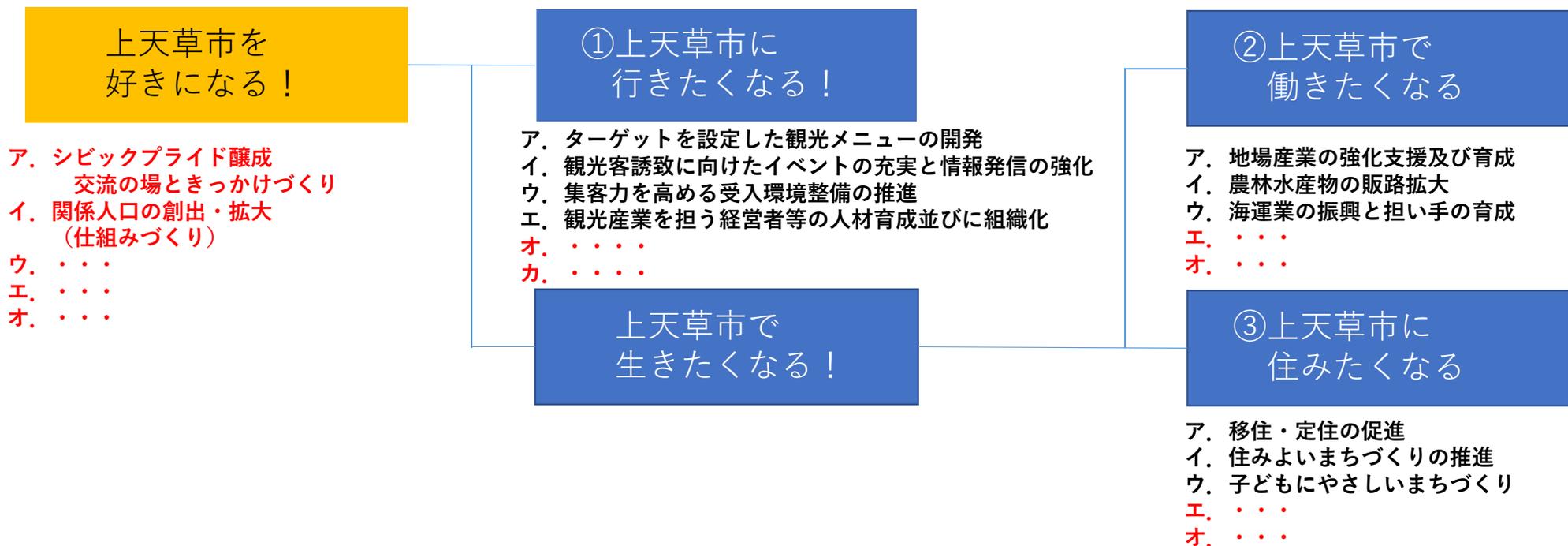
#### ①市民の当事者意識の醸成

- ・引き続き「行（生）きたくなる」「働きたくなる・住みたくなる」取組の強化、市民に対しての積極的な情報発信と参画促進
- ・地方創生事業の市内全域での展開（姫戸・龍ヶ岳）
- ・地域に根差した勉強会の推進
- ・熊本県などが進める市内小中高校での起業家育成事業（本年度より実施）
- ・地域おこし協力隊の拡大とそれを契機とした各地区での交流促進・地域の課題解決を図る取組を促進  
※湯島、教良木、維和の事例を全地域に波及

#### ②関係人口の創出・拡大

- ・引き続き「行（生）きたくなる」「働きたくなる・住みたくなる」取組を強化
- ・“上天草サポーター”の仕組みづくり、制度設計・イベント実施
- ・電子マネーの活用を通じて市外の方の市内での消費拡大
- ・前島観光拠点施設や湯島移住体験お試し施設の活用

### 3-5 次期戦略における“上天草を好きになる”の位置づけ



- ✓ 「上天草市を好きになる」を新たに位置付けることで、これまでの取組①~③がさらに加速化
- ✓ 市外の方に対して継続的な関わりをつくることで関係人口の増加につなげる
- ✓ 市民に対しては、地方創生のジブンゴト化による市全体の活性化とその持続化

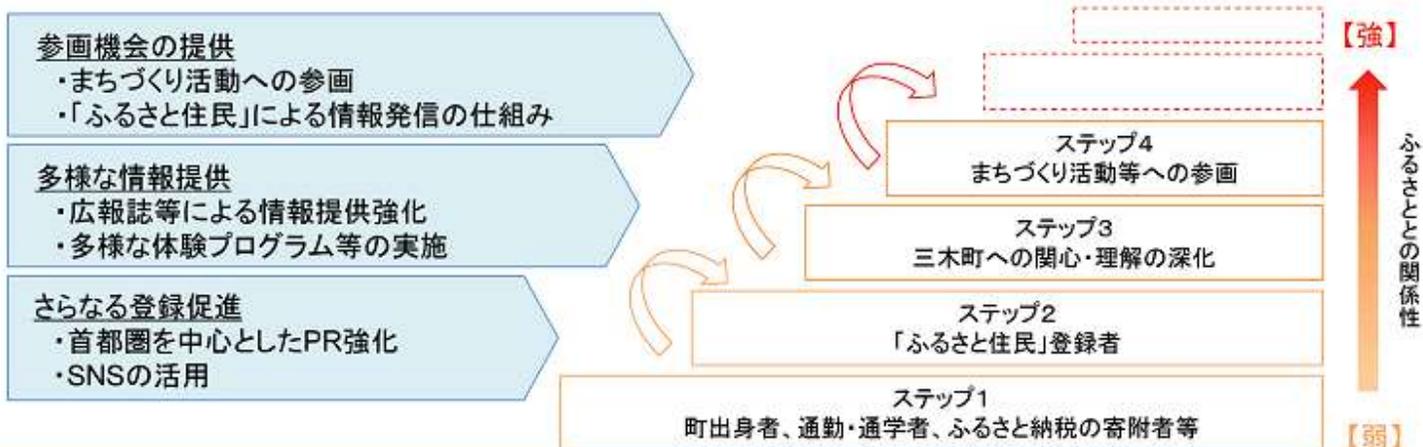
## 参考：関係人口の創出・拡大の取組事例①

H30年度事業

### (香川県三木町) ふるさと住民を活用した関係人口交流推進事業

- 町外に住む出身者や通勤・通学者、ふるさと納税の寄附者などに、「ふるさと住民」となってもらうことで、**町への「想い」を持つ者との関係性を可視化**する。(「ふるさと住民」登録者数: 431人(H30.3.31時点))
- 「ふるさと住民」に対しては、現状、会報誌の送付等にとどまっていることから、
  - ・体験ツアーや首都圏でのワークショップなど、町に触れる機会の多様化
  - ・フットパス事業のコースづくりや、町の魅力の取材・発信などの地域づくり活動への参画などを通じて、**段階に応じた、ふるさと(三木町)との関係性の深化**を図る。
- 主に**町職員の志願者で構成される「ふるさと住民票PT」**が、「ふるさと住民」の情報分析や、関係深化の機会提供において**中心的役割を担う**。

【事業の概要】 関係の各段階に応じた様々な情報や機会の提供、働きかけの強化等により、現在の関係性の継続、さらに上の段階へと関係性の深化を図る



H30年度事業 かみしほろちょう  
**(北海道上士幌町) 応援人口増加プロジェクト**

- クラウドファンディング型ふるさと納税による、移住交流促進プロジェクトや起業家支援プロジェクトへの寄附者(ふるさと未来投資家)を主な対象として、交流イベント・セミナーの開催や、移住体験モニタリングの実施、クラウドファンディングプロジェクトの対象施設の現地視察を行う。
- 上記の事業参加者に加え、寄附者メールアドレス登録者(13,000人)へのアンケート・ヒアリングを行い、それぞれの寄附者が行うことができる町の「応援方法」の調査・分析や、寄附者の職種やスキルの把握により、「応援人口」の実態を整理する。
- 「応援人口」の実態把握により、次年度以降の「応援人口」を巻き込んだ町の取組指針を検討する。例えば、町に不足している人材と、寄附者が持つスキルとのマッチングなど、よりコアなつながりを目指す。



## 参考：関係人口の創出・拡大の取組事例③

H30年度事業

(岩手県、<sup>いちのせきし</sup>一関市、<sup>かまいしし</sup>釜石市) 地域創造の担い手“岩手県関係人口”創出事業

- 人口減少に伴い、**地元中小企業における人材不足や事業承継問題が深刻化**している。また、**東日本大震災の復興過程で関係のできたボランティア等**が、自分の経験やスキルを生かして活躍する機会をなかなか見いだせていない現況にある。
- 地域で働く関心が高い層や、復興支援等で地域に関わりを持ったことのある層へアプローチし、**地域特性や受入れ企業について理解を深める講座やフィールドワークを実施**。参加者が企業ニーズを踏まえた提案書を作成し、各企業とマッチング。
- 復興に関わっていた企業や現地の中間支援組織と連携し、参加者の受入れや現地企業のニーズ調査等を実施。

“複業”を通じて、岩手のヒト、モノ、コトに触れ、岩手に興味・関心をもつ⇒「関係人口」化

都市部に住む20～30代と一関市・釜石市の地場産業を支える企業・団体を**複業マッチング**



# 参考：関係人口の創出・拡大の取組事例④

熊本県天草市では、出身者等とつながりを深めながら、魅力的な地域づくりを行うため、「天草市ふるさと住民登録制度」をはじめとしています。

これは、出身者等がふるさと住民（あまくさんサポーター）として登録し、自身が市に協力できること、市のためにやりたいことを記載することで、登録情報をもとに市内の団体等の利用希望に応じてマッチングし、お互いにつながりを深めながら、ともに天草市を盛り上げていこうというものです。

天草市の出身の方、出身ではないけど天草が大好きな方などたくさんの方の皆さんの登録をお待ちしています。

**天草市ふるさと住民**

天草市を応援したい！その想いを待っています！

**登録無料**

「ふるさと住民」登録特典

- ◆(1) ふるさと住民カードの発行
- ◆(2) 天草エアライン特別運賃の提供
- ◆(3) 広報誌、チラシの送付
- ◆(4) メールマガジンの発行（イベントなどの紹介）
- ◆(5) 天草暮らし体験ツアーへの参加
- ◆(6) ふるさと住民イベント（東京・大阪・福岡）への参加
- ◆(7) 特製名刺の提供（1回限り）
- ◆(8) あまくさんサポーターとしての活動の支援

※ ◆全員、◆希望制、◆人数限定・抽選制  
◆人数限定・(5)(6)(8)の参加者等に提供  
※インターネットからも申込できます。

お問い合わせ先  
熊本県天草市 地域政策課  
☎0969-27-6000（直通）  
FAX 0969-24-2744  
〒863-8631 熊本県天草市東浜町 8-1  
✉ furusato-gp@city.amakusa.lg.jp

※令和元年6月新庁舎に移転し、FAX番号が変わりました。

申込みは裏面をご覧ください。

## 天草市ふるさと住民登録申請書

天草市長 様  
天草市ふるさと住民登録制度実施要綱第4条第1項の規定により、登録を申請します。

申請日 年 月 日

ふりがな	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	誕生日(西暦) 年 月 日
お名前		
ご住所 〒 -		
連絡先電話番号( - - ) 携帯電話( - - )		
E-mail		
あなたの仕事の業種 □の中にVを記入してください。	<input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 鉱業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 電気・ガス業 <input type="checkbox"/> 運輸・情報通信業 <input type="checkbox"/> 商業 <input type="checkbox"/> 金融・保険業 <input type="checkbox"/> 不動産業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他( )	
あなたの仕事の職種	<input type="checkbox"/> 営業、事務、企画系 <input type="checkbox"/> サービス、販売系 <input type="checkbox"/> 専門職系(コンサルタント、金融、不動産) <input type="checkbox"/> クリエイティブ系 <input type="checkbox"/> 技術系(ソフトウェア、ネットワーク) <input type="checkbox"/> 技術系(電気、電子、機械) <input type="checkbox"/> 技術系(素材、食品、メディカル) <input type="checkbox"/> 技術系(建築、土木) <input type="checkbox"/> その他( )	
ふるさと住民に登録する理由	<input type="checkbox"/> 天草市の出身だから(差支えなければ出身町名等をご記入ください) <input type="checkbox"/> 家族や親戚が市に住んでいる(住んでいた)から <input type="checkbox"/> 天草市にふるさと応援寄付金を行ったから <input type="checkbox"/> 天草市以外に在住で天草市内に固定資産を所有しているから <input type="checkbox"/> 天草市に通勤、通学している(していた)から <input type="checkbox"/> 天草市出身者等で構成する郷友会、ふるさと会等の団体に所属しているから <input type="checkbox"/> その他、天草市に愛着を持ち、積極的に関わりたいから 具体的に:	
特典の要・不要	広報誌、チラシの送付 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要    メールマガジンの送付 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	
あなたが天草市のためにできること	例：◎天草市の商品を購入します。    ◎□□の助言やアドバイスができます。 ◎ SNSなどで天草市をもっとPRします。	
上記申請にあたり、次の事項に同意します。 <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない		このQRコードを読み込んで、天草市ふるさと住民登録制度実施要綱をご覧ください。
1. 「天草市ふるさと住民登録台帳」に登録し、上表網掛け部 の情報(誕生日については年齢を年代、住所については都道府県名のみ)について、市ホームページ等で公開すること。 2. 市民や市内の企業等の利用者から、登録台帳の情報提供の依頼があった場合は、申請者本人に確認のうえ、連絡先を当該利用者に提供すること。		